

- 体育会会長 あいさつ ②
- 野球部/バレーボール部 ②
- 少林寺拳法部/硬式テニス部 ③
- アンケート ③
- 創刊20号記念 ④
- 敬愛大学体育会活動報告会 ④
- 活動報告一覧 ④

# 敬大SPORTS Vol. 20

● 敬愛大学体育会発行 ● 〒263-8588 千葉県稲毛区穴川1-5-21 TEL.043(251)6363 ● March 23, 2022



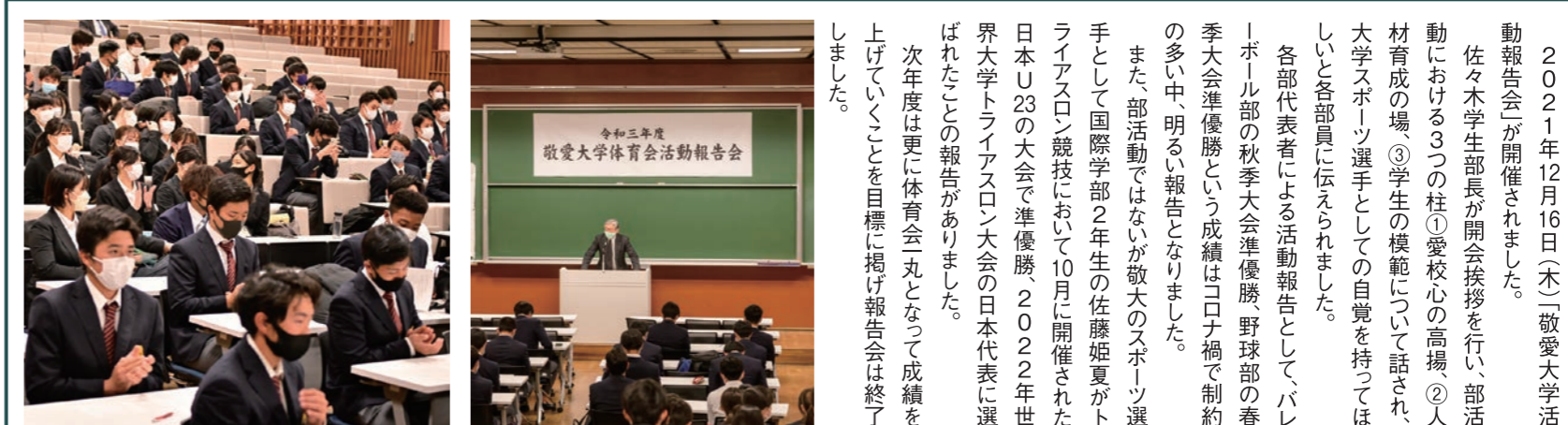
## 創刊20号記念



敬愛大学体育会を学内外に広報し、体育会の発展と向上に寄与する目的で制作されている「敬大スポーツ」は、本号で20号を迎えました。



### 敬愛大学体育会 活動報告会開催



2021年12月16日(木)「敬愛大学活動報告会」が開催されました。  
 佐々木学生部長が開会挨拶を行い、部活動における3つの柱①愛校心の高揚、②人材育成の場、③学生の模範について話され、大学スポーツ選手としての自覚を持つてほしいと各部員に伝えられました。  
 各部代表者による活動報告として、バレーボール部の秋季大会準優勝、野球部の春季大会準優勝という成績はコロナ禍で制約の多い中、明るい報告となりました。  
 また、部活動ではないが敬大のスポーツ選手として国際学部2年生の佐藤姫夏がトライアスロン競技において10月に開催された日本U23の大会で準優勝、2022年世界大会トライアスロン大会の日本代表に選ばれたことの報告がありました。  
 次年度は更に体育会丸となって成績を上げていくことを目標に掲げ報告会は終了しました。

### 2021年度 敬愛大学体育会所属クラブ活動報告(大会結果等)一覧

- 令和3年12月16日現在
- 野球部**
    - 令和3年度千葉県大学野球春季リーグ戦(1部)(4月~5月 ZOZOマリンスタジアム他) 9勝4敗 勝点4 準優勝  
【個人賞】  
最多勝(5勝)・奪三振王(62個) 大崎 黎(4年)  
ベストナイン外野手(0.353) 小林白彪(1年)
    - 令和3年度千葉県大学野球新人戦  
1回戦 対清和大学 4-2 勝利  
2回戦 対千葉経済大学 2-5 敗戦
    - 令和3年度千葉県大学野球秋季リーグ戦(1部)(9月~10月 ZOZOマリンスタジアム他) 4勝6敗 ポイント12 5位(第3節 辞退を含む)  
【個人賞】  
首位打者(0.448)・ベストナイン外野手 櫻井 淳(4年)  
D H 賞(0.423) 鶴見 駿(3年)
  - バレーボール部**
    - 2021年度春季関東東大女子2部バレーボール オープン戦 3勝1敗
    - 2021年度秋季関東東大女子2部バレーボールリーグ戦 5勝1敗 準優勝  
【個人賞】敢闘選手賞、スパイク賞 安村星砂(3年)
    - 第68回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会(11月 大田区総合体育館) 2回戦 福岡大学 3-0 敬愛大学
  - 少林寺拳法部**
    - 第58回少林寺拳法関東学生大会 【※新型コロナウイルスの影響のため中止】
    - 2021年度千葉県大会 【※新型コロナウイルスの影響のため中止】
  - 第73回少林寺拳法千葉市民大会 【※新型コロナウイルスの影響のため中止】
  - 第55回少林寺拳法全日本学生大会 【※新型コロナウイルスの影響のため欠場】
  - 硬式テニス部**
    - 2021年度千葉県学生テニス対抗戦(団体戦)(5月~7月 各大学テニスコート)  
【男子2部リーグ】4部リーグ制(1リーグ当たり4大学構成)  
【女子リーグ】  
※男子リーグ・女子リーグ共に、新型コロナウイルス感染症影響により中止
    - 2021年度千葉県学生テニス連盟主催大会(11月~12月 各大学テニスコート)  
【男子】対抗戦(特別試合) 総合3位(8団体出場) (7大学中2位)  
予選1回戦 4対3 麗澤大学 (千葉県一部所属) 勝利  
予選2回戦 1対6 東洋学園大学A (千葉県一部所属) 敗退  
予選3回戦 6対1 千葉工業大学 (千葉県二部所属) 勝利  
順位決定戦 5対2 流通経済大学 (千葉県二部所属) 勝利  
【女子】個人戦 シングルス 3位 市東麻衣子
  - バスケットボール部**
    - 第97回関東大学バスケットボールリーグ戦(10月~)  
対 千葉工業大学 44対64 敗戦  
対 了徳寺大学 81対75 勝利  
対 淑徳大学 敬愛大学棄権のため淑徳大学不戦勝  
対 東京海洋大学 83対87 敗戦  
対 千葉商科大学 千葉商科大学棄権のため敬愛大学不戦勝  
対 神田外語大学 神田外語大学棄権のため敬愛大学不戦勝

### 「ニューノーマル」時代のスポーツへの期待



コロナ禍も足掛け3年に及び、スポーツ界もその影響を余儀なくされています。このように状況の中、昨年度に東京2020オリンピック、パラリンピックが年遅れで開催されたことは記憶に新しいところです。緊急事態宣言下での開催に対しては賛否両論ありましたが、大会関係者やボランティアの方々の献身的なサポートによって大きな混乱もなく、両大会が閉幕したことは何よりでした。感染防止の観点から大半の競技が無観客試合となりましたが、テレビやインターネットの映像を通して自国の選手やチームを応援し、感動と思いを共有できたことは幸いです。

本学体育会の各部もコロナ禍の制限下で苦勞と工夫を重ねながら活動しています。昨年の秋は本学バレーボール部(女子)が所属する関東大学バレーボール連盟秋季リーグ公式戦が二日間、本学の敬愛アリーナを会場に行われ、無観客開催。会場校の責任者ということもあり、リーグ事務局関係者への挨拶と併せて、本学バレーボール部の公式戦を会場で観戦する貴重な機会を得ました。2年ぶりの公式戦開催という特殊な状況にもかかわらず、本学の選手たちは見事なチームワークでストレート勝ちを収め、秋季リーグ準優勝に輝きました。コロナ禍の閉塞状態の中でも、部員(選手、マネージャー)、指導者(監督、コーチ、部長)が高い意識をもって日々の活動に取り組んできたことの証であり、本学体育会の今後の発展を支える確かな実績になるものと思います。

Withコロナ、Afterコロナの「ニューノーマル」時代においてもスポーツの持つ力は大きく、人々を元気づけ、社会や組織を活性化する原動力になることを改めて実感する昨今です。

### 硬式テニス部



硬式テニス部(男子) 主将  
経済学部 経営学科2年  
大川透也

話し合いながら自分たちで練習メニューを組み立てる。部の成長となり、結果を出すことが出来た。2021年度の千葉県学生テニス連盟主催大会で総合3位に輝いた男子硬式テニス部。

「これまでの結果は5位が最高でしたから、総合3位は創部以来初の快挙です。良い結果が残せたのは、大学が選手の獲得に力を入れてくれたこともあって選手層が厚くなったことが大きいと思います。」

「硬式テニス部では自分たちで練習メニューを組み立てています。議論しながら練習に取り組んでいることも実力の向上につながっていると思います。」

「高校時代は秀明八千代高等学校で活躍していた大川主将。将来はテニス一才を目指し、テニスの指導者を育成する専門学校への進学を考えていたが、敬愛大学から声がかかり選手としてテニスを続ける道を選んだ。大学卒業後はテニスコーチとして就職することも考えているが、敬愛大学でスポーツビジネスを学んだことでスポーツ用品メーカーで働くことにも興味が出てきました。また今年の団体個人の結果次第では実業団などでテニスを続けるチャンスもあるかもしれない。進路について非常に揺れています。敬愛に入学したからこそ選択肢が増えたのだと思います。」

「と語る大川主将。その目の前には大きな世界が広がっている。」

### 少林寺拳法部



少林寺拳法部  
教育学部 こども教育学科1年  
坂本 未来

大学で少林寺を学び、空手道場にも通う人を敬う気持ちと礼儀が身につく。我慢する心が鍛えられるのが武道の魅力

「小学校の教員を目指している中、教員養成と教員採用に強い敬愛大学に入りました。少林寺拳法部に入部したのは、武道が好きで、空手と共通するところがあるかもしれないと思ったからです。ところがいざ始めてみる(空手とは動きも、突きも、技の種類も全然違いました。違いを知った)と、少林寺の技を空手でどう活かすか、あるいは空手で得たことを少林寺



に活かさないか考えるようになり、「技を極めるだけでなく、礼儀を重んじることも武道の魅力だ」と語る。「我慢することの大切さも武道が教えてくれました。昨年はコロナ禍で少林寺の大会はほぼ中止になりました。さらに、高校時代に痛めた腰の疲労骨折が悪化して、昨年度に手術をして練習から長く離れることになりました。痛みや活動できない状況を我慢して、練習から長く離れることになりました。痛みの我慢も、練習から長く離れることになりました。痛みの我慢も、練習から長く離れることになりました。痛みの我慢も、練習から長く離れることになりました。」

元来運動好きな坂本さんは、学内のテニスサークルにも所属している。「部活やサークルがたかさんあるのも敬愛大学のいいところ。今は腰の故障でテニスができないのですが、サークル仲間もたくさんいますし、コートに戻れる日を楽しみにしています」と瞳を輝かせる。武道と勉学に励みつづ、キャンパスライフを大いにエンジョイしているようだ。

### 野球部



野球部 主将  
経済学部 経済学科3年  
鶴見 駿

2021年は春季リーグ準優勝と大健闘  
2022年は個人の力をチーム全体の力にすることが目標

令和3年度千葉県大学野球春季リーグ戦(2部)で準優勝を飾った敬愛大学野球部。秋季リーグは5位だったが、手応えはあったと鶴見主将。

「個々の力は発揮できました。反省点は、その個々の力をチーム全体の力にできなかったこと。今の野球部ならもう少しチームになれるはず。そう信じて新主将に志願しました。学年に関係なく意見を言い合える環境を作って、活気と団結力のあるチームにしたいことが目標です。」

個人としては昨年の秋季リーグ戦でDH賞を受賞。引き続き打率をキープしつつ、今シーズンはホームランを含めた長打を増やそうが目標だ。「チームとして冬の間はウエイトトレーニングに力を入れて、やってきたので、その成果をホームランという形で出したいですね。」

野球を始めたのは小学3年の時。成功ばかりではなく、うまくいかないことも多かったからこそ続けることができたのだと語る。

「もうできるはずだ」という向上心を積み重ねた結果が今につながっています。まだやりきっていないという気持ちは今も強く、大学を卒業してから野球を続けていきたいと思っています。と語る鶴見主将。悲願の2部リーグ優勝に向けて、持ち前の冷静さでチームを引っ張っていく。

### バレーボール部



バレーボール部 主将  
国際学部 国際学科2年  
井手 はるか

夢を叶えるために敬愛大学へ  
部昇格を目指してバレーも勉強も全力で

2021年度の関東大学女子2部リーグ戦秋季リーグでは、5勝1敗で準優勝を果たした敬愛大学バレーボール部。

「今のチームはいい雰囲気、調子が悪ければ」とつぶやけばいいと思う。とチームメイトに相談できたり、誰かがスランプになると「こんな風にしてみたら」とアドバイスをくれるムードが、あれこれ結果につながりました。ただ部リーグ昇格は逃して悔しい思いをしました。

そう語る井手さんは主将に指名され、チームをまとめる立場に



「本来の私はサポーター役。でも意識を変えて、リーダーシップを発揮してこれが自分のチームと言えよう」と引張ってほしいです。」

小学5年生でバレーボールを始め、神奈川県立三浦学苑高等学校時代には春高バレーやインターハイ、全国私立高等学校大会へ出場した井手主将。バレーボールでの実績が評価されて敬愛大学に入部し、部活動に力を入れているが、同じくらいに頑張っているのが学部の勉強だ。

「敬愛大学では卒業後に実業団に進む人も少なくないのですが、私の将来の夢は飛行機の操縦士。大学を卒業したら公立の操縦士養成学校へ入りたいので勉強も必死です。公立の操縦士養成学校は4年制大学卒業が入学の必須条件なので、敬愛大学は私の夢を叶えるためにぴったりでした。国際学部には留学生が多いのでグローバルな環境のなか英会話の力がつくるのも魅力です」と語る井手主将。その挑戦に熱い声援を送りたい。



野球部  
経済学部 1年  
松波 律樹

強豪校で野球を続けたいと福岡・筑陽学園高から敬愛大学へ社会科学部の教員免許取得を目指して授業にも意欲的に臨む

福岡県出身で甲子園の常連校である筑陽学園高を経て敬愛大学に入学。遠く離れた千葉県の大学へ入学を決めた時、迷いはなかったと言った。

「何よりレベルの高いところで野球を続けたい」という思いがありました。ポジションは小学生の頃からキャッチャー、もちろん敬愛大学野球部でもキャッチャーを務めている。

「キャッチャーはチームのなかで一人だけ反対側を向いています。小さい僕にはそれがとてもかっこよく映ったんです。野球をやっていく中で、キャッチャーはチームに声かけたり、相手チームの動きを読んだりして、動き方でチームの勝利に大きく貢献できることも学びました。それが難しくも楽しいところで、キャッチャー一筋でやっていきます。」

松波さんが敬愛大学を選んだのは、野球の強豪校であるだけでなく、中学校と高校の社会科学部の教員免許が取得できることも大きかった。

「ゆくゆくは教師になって野球を指導したい」という夢を持っています。教員免許が取得できる敬愛大学は、その点でも僕の理想でした。今の目標はレギュラーに定着すること。配球面でもムード作りにおいても、チームから信頼されるキャッチャーになりたいと瞳を輝かせる。



硬式テニス部(女子) 主将  
国際学部 こども教育学科3年  
市東 麻衣子

大学時代に何をやりましたかと聞かれたら硬式テニス部の活動をやり遂げたことと自信を持って答えたい

小学校教員を目指して敬愛大学に入学し、体験入部をきっかけに硬式テニス部に入部して2年次から主将を務めてきた市東主将。

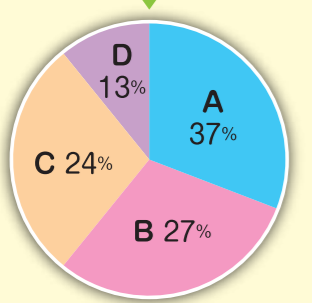
「教職を取りながら部活動が続けるのは正直大変でした。私は千葉県教育委員会が主催する「ちば一教職たまごプロジェクト」に参加しています。2021年度は小学校で教育実習にも取り組みました。日々忙しかったですが自分の中で勝手に無理だと決めつけて諦めなくなかったです。スポーツも勉強も無理だと思ったりと、それでも終わり。諦めないで最後まで頑張ることが大切です。」

2021年度の千葉県学生テニス連盟主催大会で個人戦シングルス3位に輝いた。硬式テニス部は男子部と、女子部で分かれて活動しているが、練習は男女一緒にしている。それが今回の結果につながっているところを分析する。

「4年生の夏に教員採用試験が控えています。部活動は最後まで続けたい。卒業まで部活動をやり遂げて、大学時代に何をやりましたかと聞かれた時に、部活を頑張りましたと胸を張って答えたいです。」

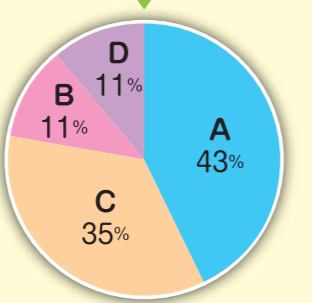
練習試合で男子と対戦することもありますが、また勝つことがないので、卒業までに一度は勝利することが今の目標だと笑いながら話してくれた。

#### クラブ活動で一番得たものは?



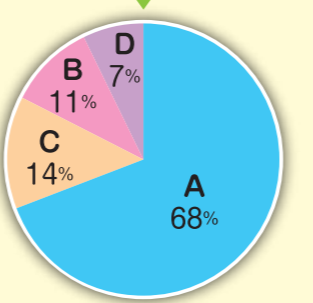
- A 友情・絆
  - B 忍耐力
  - C 健康・体力
  - D その他
- 人間関係・全て・元気力・人間性  
人間力・上下関係・責任感・個人の力・技術の向上

#### なりたい職業は?



- A プロを含めスポーツ関連の職種
  - B 教員・指導者
  - C 一般企業サラリーマン・起業
  - D その他
- 公務員・未定・航空会社・CA

#### このスポーツを選んだキッカケは?



- A 両親・友達・指導者の影響
  - B あこがれ・尊敬する選手がいたから
  - C 将来プロを目指したいから
  - D その他
- メジャーリーガー・楽しかったから  
昔やっていたから・武道を習っているから

ケイタイ  
スポーツ  
アマガエ